

ISDNサービスからの移行をご検討中の
企業間データ連携/ネットワーク管理者様必見!

HULFT

2024年1月に終了予定



INSネット デジタル通信モード

ISDN終了、着手すべきは「今」 移行課題チェックポイント

☑ まずはチェックで自己診断からスタート!

第1.0版

セゾン情報システムズ
HULFT事業部

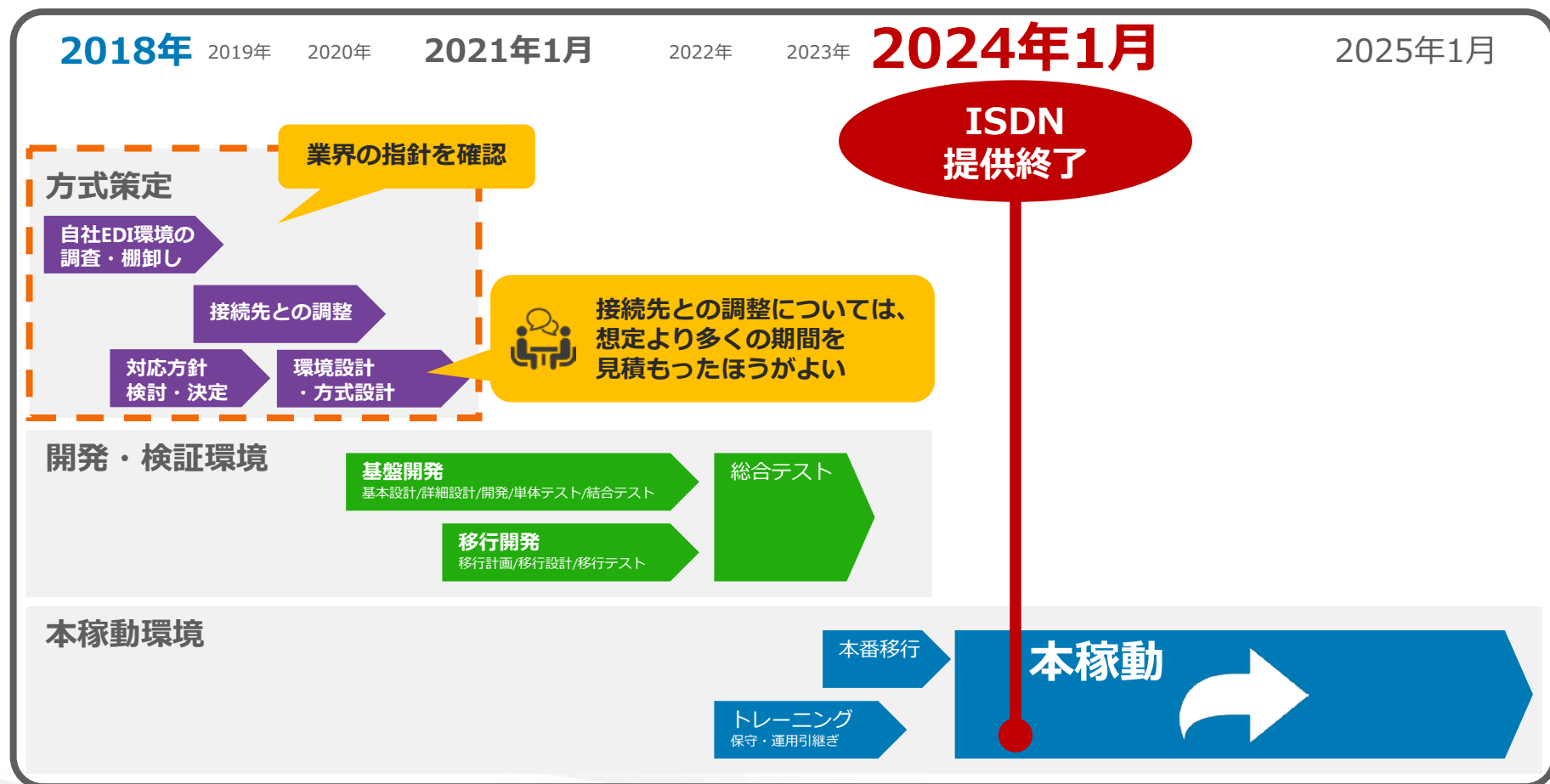
コンテンツ

- 迫るISDN 終了、対策の項目の把握を今！
- 絶対外せない15のチェックポイント！
- 見直し方針を検討しましょう！
 - ◆ 移行ポイントを解決する製品のご紹介
 - ◆ さらに便利！2018年12月リリース予定新製品のご案内

迫るISDN 終了、今すぐ移行計画の確認を！

■ システム更改のスケジュールプラン(参考)

長く使い続けるシステムの移行は計画時間も長くなります。開発開始後の抜け漏れのリスクなどを考慮すると、出来る限り**“方式策定”**は先行着手すべきです。



絶対外せない15のチェックポイント！

■ 期限が迫ってからでは手遅れに。ISDN移行に向けた確認を今すぐ！

まだISDN移行に伴う作業について理解していない、どこから手を付けていいのかわからないとお思いの方に向けて、初心者の方にもわかりやすく確認すべき項目をまとめたチェックリストを作成しました。ぜひご活用ください。

- ✓ NTTとの回線契約
- ✓ ハードウェア交換の必要性
- ✓ 使用している通信規格
- ✓ 業務への影響



➤ 次ページでさっそく

「ISDN移行チェックポイント」を確認！

まずは関連業務の把握から



1. 自社のEDI業務を漏れなく把握していますか？

システム更改に向け、最初に着手すべきは現状調査です。自社のEDI業務がどれだけあるか、その中で影響のあるISDNを使用しているものはどれか、など使用状況を把握する必要があります。



2. 利用中の通信回線契約を把握していますか？

EDI関連業務で使用している通信事業者はどこか、また、どのような通信回線契約であるかを調査します。また、物理的に接続されているハードウェアや接続関係なども把握の対象となります。



3. 業種・業界の移行方針を把握していますか？

流通、石油、建設、電子機器業界などはすでにインターネットEDIに取り組んでいます。各業界が取り組んでいるメッセージ標準などを採用し、自社に合わせた検討を行います。



4. 移行対象の取引先を把握していますか？

企業間データ連携は相手ありきの業務なので、自社内で完結しません。移行対象の取引先、取引先ごとの接続形態、送受信ファイルの容量、連絡を取るべき取引先担当者などをまとめておきます。



5. 接続先の追加に柔軟に対応できる拡張性を考慮していますか？

IT化黎明期に構築された各企業のシステムは管理が行き届いておらず、移行の調査から漏れることも想定されます。移行後のシステムは、接続先の追加に柔軟に対応できるかどうか重要です。

移行先システム(ツール)の 管理性、運用性をチェック



6. 誰でも簡単に設定・使用できますか？

企業の成長に合わせ、企業間接続、海外拠点間接続などが増えることを考慮すると、自社以外の担当者、海外拠点の担当者でも簡単に設定、使用できるシンプルな仕組みであることを考慮します。



7. スモールスタートできますか？

新規取引先などとデータ連携を開始するにあたり、大規模な開発や構築、面倒な契約が不要で、スモールスタートが可能であることは、業務の迅速性につながる重要な要素です。



8. 通信状況の把握およびリトライの仕組みはありますか？

インフラが整備されていない海外など、不安定なネットワークで通信できない状況を前提とした仕組みも必要です。通信状況を把握し、必要に応じてリトライする機能が必要です。



9. データの完全性を確認できますか？

遠距離通信などにおいては、稀にパケットロスが発生します。信頼性の高いシステム、サービスを選定することはもちろん、データの整合性、完全性を確認できる仕組みが必要です。

移行先システム(ツール)の 管理性、運用性をチェック



10. エラー発生時の原因特定と責任分界は容易ですか？

エラー発生時、履歴やログなどを参照でき、原因特定が容易であることは、システムを保守・運用していく上で重要です。また、責任分界点が整理しやすいことはトラブル防止につながります。



11. 暗号化など、データ漏洩、改ざんの対策が取られていますか？

データ漏洩、データ改ざんのリスクは、当該取引への影響だけでなく、企業イメージの低下、損害賠償責任の発生などにつながります。セキュリティ対策は必須です。



12. 操作ログなどで不正操作の証明ができますか？

「いつ」「誰が」「何をしたか」をログとして記録・保管し、検索・分析できる—。不正アクセスや不正行動を素早く発見できる仕組みが必要です。これは不正行動の抑止にもつながります。



13. マルチサービス間の連携に適した方式ですか？

クラウド時代、ITシステムは一元管理型から、用途に合わせ複数サービスを利用するマルチサービス型に—。ファイル連携など、それらを簡便に疎結合できる仕組みであることが重要です。

柔軟に対応できるシステムですか？



14. 取引先が要求する接続方法に対応できますか？

取引先が採用している規定の接続方法があり、それで接続したいと要求された場合、ある程度柔軟に対応できるかどうかは重要です。個別連携をカバーできる運用の仕組みを検討します。



15. 自社の会計モデルと合致したシステム／サービスですか？

自社の予算と照らし合わせ、構築費用、運用費用の目安を設定します。単なる安さだけでなく、状況にあわせて変化できる柔軟なライセンス体系など、将来のギャップ発生要因を見定めます。

チェック結果に準じた貴社にオススメの構成はこちら

自社のデータ連携
状況と業務を棚卸し

影響範囲
の把握

移行先システムの
利便性、可用性、
運用性を要チェック

自社のニーズ
に合う
システムは...?



ISDN回線で
HULFTご利用中

P9へ

ISDN回線で
HULFTを未使用

P12へ

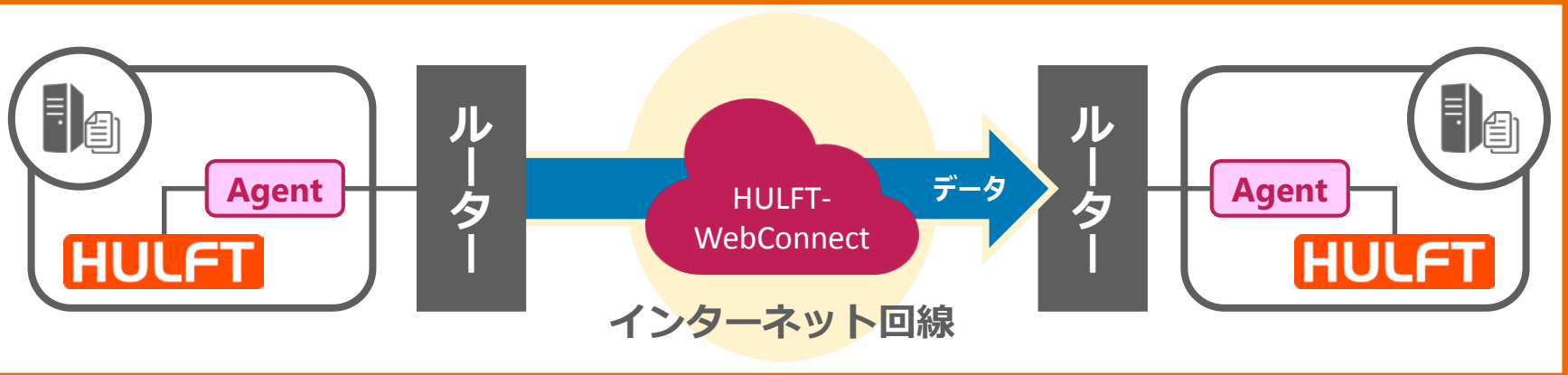
✓ ISDN回線で**HULFT**を利用している場合

✓ 従来の運用を変更せずにインターネット回線に移行が可能な
HULFT-WebConnect

現状：ISDN回線を使用したHULFT転送



移行案：インターネット回線を使用したHULFT-WebConnectによる転送



✓ ISDN回線で**HULFT**を利用している場合

✓ HULFT-WebConnectを利用するメリット

インターネット回線利用で
大幅なコストセーブ

インターネット

HULFT-WebConnect

オンメモリ中継なので
データを通信経路上に
残さない

🔒 HTTPS

🔒 HTTPS

🔒 HTTPS

専用機器の
導入が不要



管理者

Agent

HULFT

配信ホスト

本社

常時TLS暗号
で保護

既存のHULFT運用
をそのまま活用

拠点ごとの
ネットワーク
設定不要

Agent

HULFT

集信ホスト

支社

✓ ISDN回線で**HULFT**を利用している場合

**安全、安心のHULFT-WebConnectが、
お客様のISDN回線移行を
迅速、低コストにご支援いたします！
今すぐご連絡ください。**



株式会社セゾン情報システムズ
HULFT事業部
エンタープライズ営業部（金融業担当）

電話

 **0120-80-8620**

E-mail

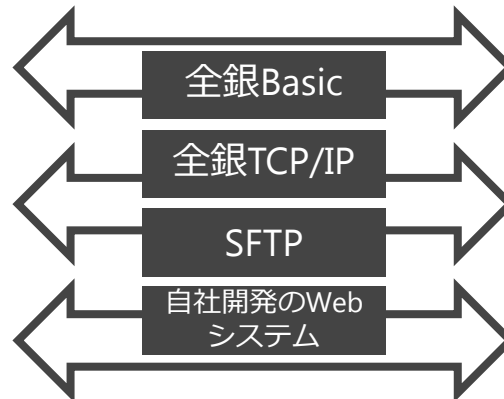
hulft_finance@saison.co.jp

✓ ISDN回線で**HULFT**を利用していない場合

サービス提供企業



各種電子
企業間取引



サービス利用企業



売上情報
給与振込
契約者情報
口座振替情報

セキュア

簡単構築

サービス提供企業



HULFT

配布型
HULFT

システム更改後

インターネット
回線

サービス利用企業



売上情報
給与振込
契約者情報
口座振替情報

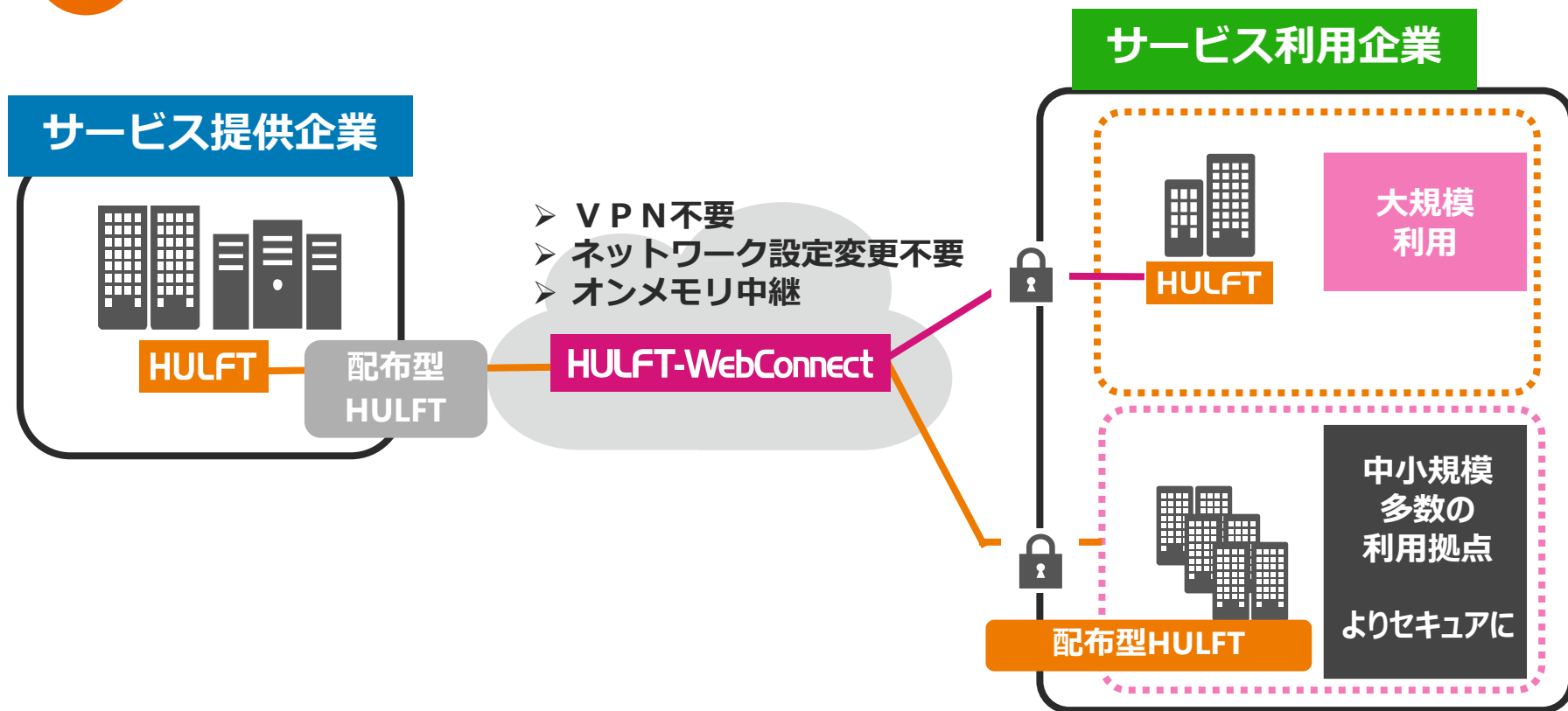
新製品

配布型HULFT (仮称)

配布型HULFT (仮称)

✓ ISDN回線で**HULFT**を利用していない場合

✓ 配布型HULFT(仮称)を利用するメリット



- 新規取引先が増えても、短期間で利用できる方法を採用したい
- 誰でも簡単に扱えるよう、操作性を重視したい
- インターネット回線でも高いセキュリティを保ちたい

配布型HULFT(仮称)※
で解決！

※配布型HULFT(仮称)は12月リリース予定です。

✓ ISDN回線で**HULFT**を利用していない場合

「配布型HULFT（仮称）」を選ぶ理由

特徴	サービス提供企業	サービス利用企業
 準備が簡単	サービス利用企業側の設定をアプリケーションへ事前に登録し配布が可能	設定済アプリケーションのためダウンロードしたらすぐに利用可能
 契約が簡単	月額請求モデルのため無駄なくライセンス契約が可能	利用するアプリケーションはサービス提供企業側で一括契約
 2重暗号化により高セキュリティを担保	操作を意識せずに高いセキュリティ対応が可能	操作を意識せずに高いセキュリティ対応が可能
 セキュリティは常に最新版へ自動更新	操作を意識せずに常に最新のセキュリティ対応が可能	操作を意識せずに常に最新のセキュリティ対応が可能
 送達確認可能	サービス利用企業からの送達確認連絡が無くなります	データが届いたか問い合わせることなく画面で確認が可能

※なお、本サービスは当社からの請求は全てサービス提供企業へ実施し、サービス利用企業へ当社から直接ご請求はいたしません。

✓ ISDN回線で**HULFT**を利用していない場合



2重暗号、3ステップ導入を実現する、 「配布型HULFT（仮称）」資料ダウンロード

ISDNサービスからの移行をご検討中の
企業間データ連携/ネットワーク管理者様必見!

HULFT

2024年1月に終了予定

【ISDN終了ベスト対策】
マイグレーションなら
利用者様の移行負担なしの
“配布型HULFT(仮称)”がオススメ!

詳しくはこちら

ISDN終了に伴う移行を成功させるためには？

■ システム更改に合わせた実施がベスト

2024年に必ず起きるISDN終了。この切り替えによる影響は甚大です。しかし、通信回線の変更以外、**業務自体は何も変わりません。**

ならば、よりセキュアで、
利用者様(相手側)の
移行の負担が少ない
ほうがいい!!

SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD. All Rights Reserved

【無料ご提供中】

ISDN廃止のベストな代替案である
12月リリース予定の「配布型HULFT(仮称)」
の資料もございます。

サービス利用企業の負担を
圧倒的に軽減する“配布型HULFT(仮称)”の
詳細をいますぐご確認ください!!

▼ダウンロードはこちら

<https://www.hulft.com/software/catalog-download/ins-migration>

✓ ISDN回線で**HULFT**を利用していない場合

ISDN回線移行を
インターネットで実現するなら、
安全、安心、確実、簡単な
配布型HULFT(仮称)をご検討ください！



株式会社セゾン情報システムズ

HULFT事業部

エンタープライズ営業部（金融業担当）

電話

 0120-80-8620

E-mail

hulft_finance@saison.co.jp